

第2回まちづくりワークショップの主な意見

今回のワークショップにおける主な意見を下表に整理するとともに、具体的な場所が分かる意見については右の地図上に「第2回まちづくりワークショップの主な意見(実態と方向性)」として示します。

項目	主な意見	
まちづくりの方向性	<ul style="list-style-type: none"> ● 住宅が緩やかに増えるのは構わないが、農業をしやすい環境を維持して欲しい。 ● 農業の継続を希望しない人のため、農地を宅地化しやすくすべき。 	
分野別実態	土地利用	<ul style="list-style-type: none"> ● 農業を継続できなくなっても、空間として農地を残すため、例えば公園等として継続的に活用してもらえる先があると良い。農家間での土地のやり取りは難しいため。 ● 稲作が行われていないため、水路の用地を歩行者空間などに活用できないか。 ● 資材置き場は暫定的な利用方法なので、宅地化が進めば無くなっていくのではないか。
	交通	<ul style="list-style-type: none"> ● 将来、住宅地になったときに、道路をどう通していくのかは重要。 ● 歩行者と自動車の動線は分けた方が良くはないか。
	生活環境	<ul style="list-style-type: none"> ● 新たに住む場合は、農地からホコリが飛ぶことなどは承知しておいて欲しい。 ● 適度に空地があること、農家との関わりで家庭菜園やお裾分けを頂けるなど、農地があることで暮らしやすい面もある。
まちづくり手法等	<ul style="list-style-type: none"> ● まちづくりの手法は、地権者からどれだけ合意が得られそうかを踏まえて設定すべき。 ● まちづくり手法(まちづくり協定、地区計画、土地区画整理事業等)に対して何が必要か示して欲しい。 ● 本ワークショップでの提案を、要望書として市に提出することも考えられる。 	

● 参考：海老川上流西部地区のまちづくりのテーマと基本的な考え方(案)

■ 海老川上流西部地区のまちづくりテーマ(案)

農と自然の中に暮らしが息づくまちづくり

・海老川上流西部地区は市街化調整区域であることを踏まえて、農業と自然環境を大切にしつつ、既に住んでいる住民が豊かな暮らしを享受できるまちづくりを目指します。

■ まちづくりの基本的考え方(案)

- ① 農業や自然を大切に、地域環境の保全と育成を進めます。
- ② 海老川沿い遊歩道と海老川調節池や周辺の公園をネットワーク化し、豊かな自然環境を享受できる健康的な地域を目指します。
- ③ 生活環境の悪化を防ぎ、コミュニティが息づくまちを目指します。

※この案は、ワークショップ参加者の方々が意見を出しやすいように事務局が仮に作成したものであり、今後地権者のみなさまの意見に基づき作成されるものです。

● 第2回まちづくりワークショップの主な意見(実態と方向性)

